※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数生物	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	改訂生物（東京書籍）						
副教材等	ニューステージ生物図表（浜島書店），六訂版リードα生物基礎＋生物（数研出版） チェック＆演習生物（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎時設定されている問いは最低限自分の言葉で回答できるようにする。そのためには受け身で教えてもらおうとするのではなく、学友と共同しながら妥当な解にたどり着く過程を大切にすること。この経験を定着させるために問題集を適切に活用すること。

２　学習の到達目標

毎時設定されている問いに他者に伝わる表現で回答できる。
それを足掛かりにして合理的な新たな問いを自分で設定できる。
最終的にはその問いについて自身で最も適当な回答を見つけ出せる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常の生活で目にする現象と生物や生物現象との関連性に興味・関心を持ち、意欲的に探究しようとすると共に科学的な見方や考え方を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する実験・観察を行い基本操作を習得すると共に、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	遺伝子のはたらき	トランスジェニック生物				○	a:日常の生活で目にする現象との関連性に興味・関心を持つ。 b:事象をグラフや図および文章で表すことが出来る。 c:実験・観察を通して科学的に探究する技能を身につけている。 d:生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。	学習状況の観察 ノート・ワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査の結果
		バイオテクノロジーの課題	○	○				
		遺伝子導入		○				
	生殖と発生	生物の有性生殖	○					
		減数分裂		○				
		独立遺伝				○		
		連鎖・組換え				○		
		動物の発生			○			
		植物の発生			○			
		植物の器官分化	○					
	生物の環境応答	神経系				○		
		神経回路		○				
		受容器	○		○			
		効果器				○		
		動物の行動				○		
		植物の環境応答		○				
後期	生態と環境	個体群と生物群集				○	a:日常の生活で目にする現象との関連性に興味・関心を持つ。 b:事象をグラフや図および文章で表すことが出来る。 c:実験・観察を通して科学的探究する技能を身につけている。 d:生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。	学習状況の観察 ノート・ワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査の結果
		個体間の相互作用		○				
		物質生産とエネルギーの流れ			○			
		生態系と生物多様性	○					
	分野横断的探究	ミクロとマクロのつながり	○	○				
		仮説検証法		○		○		
		データの分析			○	○		
		科学的な表現方法		○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。